

ビジネスアイデアの概要

「音で見る」異常検知プラットフォーム

- ・ 目に見えない異常 (内部構造, 遮蔽環境, 広域環境における異常等) は社会に多数存在
→ 発見の遅れが 重大事故や人命リスク に
- ・ **音情報を用いて目に見えない異常を検知・可視化する「音で見る」技術** を事業化
- ・ 非接触かつ低コスト, 簡易導入, 高汎用なプラットフォーム
- ・ 常時モニタリングにより 異常の早期検知や位置特定 まで可能
- ・ 社会インフラ／防災／産業設備／交通／見守り等へ 横断展開可能

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ・ 実環境における技術の有効性検証, 導入条件・運用条件の整理
- ・ 実証実験を実施するPoCパートナーの確保
- ・ ターゲット市場・顧客セグメントの特定, 顧客価値の定量的評価
- ・ 市場調査に基づくビジネスモデルの構築
- ・ 知財戦略の構築
- ・ チーム体制の強化 (既存メンバーに加えた不足人材の整理・確保)

事業化の見通し

視覚中心のセンシングでは検知困難な異常に対するニーズが存在する。
これまでに, 「音で見る」異常検知技術を複数用途で基礎検証・実証し, 有効性を確認している。
今後は実環境での検証とプロダクト開発を進めるとともに, 音響ベースの異常検知技術の体系化・標準化を通じて事業化を目指す。

事業者情報

干場功太郎
(東京科学大学 工学院機械系)

ビジネスアイデア概要図等

